

和木町子ども・子育て支援事業計画
進捗状況等について
(令和3年度評価)

和木町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

令和3年度評価資料

和木町では、令和元年度に「第2期和木町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。本計画では、毎年定めました各子育て支援施策の点検評価を行い、質の高い保育や幼児教育、ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた、現在の取り組みや内容及びその進捗状況を確認することで、あらたな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。

（1）教育・保育給付

■1号認定者（3歳～5歳、幼稚園及び認定こども園）

※5月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	123	100	100	99 57	100 55
実績値	88(6)	62(5)	61(1)	-	-
1号認定者の割合	44%	34%	34%	34%	34%
評価結果	急共働き世帯の増加により1号認定者数は減少が顕著となっています。特に令和2年度と令和3年度を比較すると、10%減少し34%となっています。今後も同じような傾向が続くと予想されます。				
今後の方向性	令和2年度から令和4年度までの1号認定者が占める割合の平均で人口予想値より算出し、計画数値の変更を予定しています。				
今後の課題	現状維持（利用定員を変更R4.4.1）				

※令和5年度、6年度の見直しのため参考に令和4年度の実績値も入力しています。

■2号認定者（3歳～5歳、保育所及び認定こども園）

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	116	114	114	104 110	113 106
実績値	110(9)	123(9)	117(7)	-	-
2号認定者の割合	56%	66%	66%	66%	66%
評価結果	2号認定者数は、割合的には、令和2年度より10%増加しましたが、今後も同じような傾向が続くと予想されます。				
今後の方向性	令和3年度の2号認定者の割合に新たに推計した人口に乗じて見込値の見直しを行いました。				
今後の課題	現状維持（利用定員を変更R4.4.1）				

※令和5年度、6年度の数値見直しのため参考に令和4年度の実績値も入力しています。

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

■3号認定者（0歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	17	17	17	17	17
実績値	2(0)	3(1)	5(2)	-	-
評価結果	見込値が実績値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持します。（人口は減少するものの、保育ニーズは維持すると想定されるため。）				
今後の課題	年度途中には、和木こども園の定員12名は満員となります。今後、ニーズに適応した利用定員を設けていく必要があります。定員を超過した場合は、大竹、岩国に委託保育をお願いしています。今後も委託費用等の予算確保を行う必要があります。				

※令和5年度、6年度の数値見直しのため4年度の実績値も入力しています。

■3号認定者（1歳から2歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

単位：人

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	61	61	61	61	61
実績値	54(6)	59(10)	67(11)	-	-
評価結果	実績値が見込値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持します。				
今後の課題	コロナ禍により保育ニーズが大きく変わることも予想されますので、安定的な受け皿の確保が必要となります。 参考：和木こども園の定員は1歳定員24名、2歳定員30名。定員を超過した場合は、大竹、岩国に委託保育をお願いしています。				

※令和5年度、6年度の数値見直しのため4年度の実績値も入力しています。

参考値

■学校児童数の推移

単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
和木小学校	429	418	427	426	409
和木中学校	183	197	192	194	195
合計	612	615	619	620	604

各年5月1日現在（学校基本調査）

基本目標1 「地域における子育て家庭に対する支援」

■利用者支援事業

事業内容：子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じた相談助言を行い、関係機関との連絡調整等を実施する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1	1
評価結果	保健相談センターに子育て包括支援センターを開設しており、利用者支援事業母子保健型の事業を実施しております。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■地域子育て支援拠点事業

単位：人

事業内容：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業（和木こども園に設置）					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	1,022	1,090	1,114	1,120	1,125
実績値	335	441	-	-	-
評価結果	利用制限と、コロナ禍ということで利用者数は見込値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■乳児家庭全戸訪問事業（乳児家庭訪問）

単位：人

事業内容：生後3ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	69	70	70	70	70
実績値	59	47	-	-	-
評価結果	すべての家庭を訪問することができています。訪問により情報提供や養育環境等の把握など、必要な支援を提供しています。確保方策の数値内でした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

■養育支援訪問事業等

単位：人

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	35	35	35	35	35
実績値	34	37	-	-	-
評価結果	養育支援が必要な家庭を把握し、定期的に訪問を行うことができています。適切な養育の実施を確保することが出来るよう、指導、助言を行っています。令和3年度は、見込値を上回りました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

単位：人

事業内容：保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	7	7	7	7	7
実績値	3	12	-	-	-
評価結果	令和3年度の受入実績のある施設は「特定認定 NPO 法人とりで」1施設ですが、委託先は「はるか」と「特定認定 NPO 法人とりで」の2団体と契約し事業を行いました。令和3年度は見込値を上回りました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■ファミリー・サポートセンター事業（低年齢及び高学年）

単位：人

事業内容：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	0
評価結果	和木町では事業を実施していません。				
今後の方向性	広域利用について近隣市町に確認しましたが、現状困難であるとのことでした。引き続き、研究・調査を継続します。				
今後の課題	研究・調査を継続します。				

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

■一時預かり事業（幼稚園在園児対象1号認定者）

単位：人

事業内容：主に、1号認定こどもが利用している認定こども園や幼稚園で教育時間以外の時間で一時的に預かり、必要な保育を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施しています。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	105	96	97	89	96
実績値	35	89	-	-	-
評価結果	1号認定こどもが減少しているにも関わらず、令和2年度より利用者は倍増しています。実績値は見込値を下回りました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■一時預かり事業（在園児対応以外）

単位：人

事業内容：家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点及びその他の場所において一時的に預かり、必要な保護を行う事業。和木町では、和木こども園にて実施しています。和木町では満1歳以降の子どもさんを対象にしております。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	75	74	74	75	75
実績値	44 102	73	-	-	-
評価結果	<p>和木こども園事業89人のうち、大竹市分：34人 和木町の方で他市町の事業所を利用した方：18人（岩国市：リボン保育園、川西保育園－負担金54,445円） 一時預かり事業は相互の利用協定を結んでおり、広島広域圏及び県内市町で利用ができます。 広島県：広島市・呉市・竹原市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・安芸太田町・北広島町・大竹市・府中町・海田町・熊野町・坂町・大崎上島町・世羅町・三次市 令和2年度の実績値の修正について 令和2年度の実績値に誤りがありましたので、修正します。令和2年度の数値は、和木こども園のみの実績値となっており、他市町の利用分（岩国市27人、大竹市19人）も含んでおり、また、町外の施設利用者2名が漏れていましたので、実績値を102人に修正します。</p>				
今後の方向性	利用を希望する方の利用を受け入れる体制整備を進めていく必要があります。				
今後の課題	利用回数の確保や利用条件の緩和				

■時間外保育事業（延長保育事業）

単位：人

事業内容：保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	118	117	119	44 118	44 119
確保方策	118	117	119	44 118	44 119
実績値	44	51	-	-	-
評価結果	見込値はと実績値に大きな差があるため、実績値に近い値に見直します。				
今後の方向性	計画値と10%以上乖離しているため、数値を変更します。				
今後の課題	継続維持				

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

■病児病後児保育事業

単位：人

事業内容：病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等をする事業。和木町内には事業所はありませんが、広域利用ができるように予算の確保をしています。					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	37	37	37	37	37
実績値	5	31	-	-	-
評価結果	<p>令和3年度実績値：23人（岩国市内）、8人（大竹市内）利用（延べ人数） 和木町には、病児保育を実施する施設がないため、広島広域で相互の利用協定を締結し利用している状況です。 岩国市：ぶちはび（医師会病院（室の木））3人 シックキッズ（岩国メディカルサポート（南岩国））20人 大竹市：広島西医療センター8人</p> <p>参考 病児保育事業の広域利用ができる市町</p> <p>広島県 ・広島市・呉市・竹原市・三原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・安芸太田町・北広島町・府中町・海田町・熊野町・坂町 ・大崎上島町・世羅町（令和3年度）</p> <p>山口県 ・全域（うち病児保育を実施している自治体：下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、美祢市、周南市、山陽小野田市、平生町）</p> <p>負担金額 大竹市 180,761円 岩国市：269,236円 計 449,997円</p>				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■放課後児童クラブ（放課後健全育成事業）4月1日在籍児童数

単位：人

事業内容：保護者が就労や、その他の理由により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	124	124	119	124	113
実績値	103	102	-	-	-
評価結果	高額年の児童も利用することができました。				
今後の方向性	小学校就学前の2号認定者（保育の必要な）の増加に伴い、わきっこクラブの利用登録も多い傾向にあります。利用条件の見直し等を検討する必要があります。				
今後の課題	利用希望者の増加に伴い、高学年の利用登録ができない可能性があります。				

基本目標2 「子どもが健やかに生まれこころ豊かに育つ環境づくり」

■妊婦健康診査

単位：人、回

事業内容：妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する下記①～③の健康診査を行っています。					
①健康状態の把握					
②検査計測					
③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
見込値	966	966	980	980	980
対象人数	69	69	70	70	70
検診回数	14	14	14	14	14
実績値	638	598	-	-	-
対象人数	46	43	-	-	-
検診回数	14	14	-	-	-
評価結果	継続して妊婦のほとんどが、健診を受診していますが少しずつ対象者が減少しています。実績値は、見込値を下回りました。				
今後の方向性	維持継続				
今後の課題	継続維持				

■乳幼児健康診査受診状況

単位：人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1か月健診	対象者	70	68	64	55	55
	受診者数	64	65	62	46	46
	対象者	91.4	95.6	96.8	83.6	83.6
3か月健診	対象者	83	70	64	51	51
	受診者数	77	67	61	44	44
	対象者	92.8	95.7	95.3	86.2	86.2
7か月健診	対象者	85	58	68	58	58
	受診者数	81	45	68	47	47
	対象者	95.3	82.8	100.0	81.0	81.0
10か月健診	対象者	80	61	73	60	60
	受診者数	58	53	56	45	45
	対象者	72.5	86.9	76.7	75.0	75.0
1歳児健診	対象者	92	60	70	61	61
	受診者数	73	59	60	50	50
	対象者	79.3	98.3	85.7	82.0	82.0

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

■ 1歳6か月児童健康診査受診状況

単位：人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者		73	80	56	68	61
一般	受診者数	67	77	55	65	58
	受診率	91.8	96.3	98.2	95.6	95.1
歯科	受診者数	67	77	56	65	58
	受診率	91.8	96.3	98.2	95.6	95.1

■ 2歳児歯科健康診査受診状況

単位：人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者		65	75	70	0	0
受診者数		62	73	64	0	0
受診率		95.4	97.3	91.4	0	0

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

■ 3歳児健康診査受診状況

単位：人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者		86	62	74	37	60
一般	受診者数	81	63	67	38	54
	受診率	94.2	101.6	90.5	102.7	90.0
歯科	受診者数	81	63	67	38	54
	受診率	94.2	101.6	90.5	102.7	90.0

■ 妊婦相談

母子健康手帳交付・妊婦相談の状況

単位：人

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者数		77	69	67	67	54
転入者（再掲）		8	5	6	9	7

■ 離乳食・乳児食教室の実施状況

単位：人

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者数	27	27	14	0	8
離乳食	23	20	14	0	8
幼児食	4	7	0	0	0

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止

■ 離乳食・乳児食教室開催回数

単位：回

	離乳食教室	幼児食教室
参加者数	2	0

■ 育児相談の実施状況

単位：回、人

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催回数	24	24	21	16	18
初回参加者	121	109	106	81	64
延べ参加者数	299	272	261	157	160

資料2（令和4年度和木町子ども・子育て会議資料）

子どもの健やかな成長への支援

■不妊治療対策事業

30,000円を上限に年1回通算5回までの不妊治療の一部助成を行っています。

件数	補助額
1件	23,440円

■町外私立保育園等に通う方へ給食費の助成

件数	補助額
16件	515,963円

■出産祝金の支給

生まれてきた子ども達の健やかな成長のために、出産祝金の支給をしています。

第1子に10,000円、第2子に30,000円、第3子以降に50,000円

令和3年度は1,400,000円を給付しました。

	第1子	第2子	第3子以降
給付対象者数	18人	19人	13人

子どもの健やかな育成を支える個人給付サービスの実施

■高校生以下（令和3年10月診療分より高校生も対象）の子ども達を対象に、必要な医療を安心して受けられ、疾病の早期診断、早期治療を促進し、健康の保持と増進を図っています。

福祉医療費（県制度）			子ども安心医療	合計
	乳幼児	ひとり親		
対象者数	273人	67人	896人	1,236人
医療費給付額	8,197,236円	3,109,472円	26,420,881円	37,727,589円

■任意予防接種助成事業

単位：件

町内の医療機関で予防接種を受ける場合の接種費用の一部を負担しています。

		助成件数		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
□タウウイルス（1価） 7,500円/回	1回目	16	14	0
	2回目	17	13	0
□タウウイルス（5価） 5,000円/回	1回目	40	15	1
	2回目	36	17	0
	3回目	27	17	1
おたふくかぜ 3,000円/回	1回目	41	35	48
	2回目	21	22	34
インフルエンザ 2,500円/回	1歳～小学6年	809	0	687
	中学1年～2年	35	77	40

事業額：854,000円

■学校給食アレルギー対応文書料助成

アレルギー体質で学校に診断書の提出が必要な方に文書料3,000円（毎年度一回の上限額）の助成をしています。

令和2年度		令和3年度	
件数	補助額	件数	補助額
18件 ※小学生7件 就学前児童11件	21,200円	20件 ※小学生13件 就学前児童7件	21,500円

ひとり親家庭等の自立支援の推進

ひとり親家庭医療を山口県と共同で実施しています。

児童虐待防止対策の充実

要保護児童等を支援するため、和木町要保護児童対策地域協議会を10回開催し、情報の共有、支援方法の協議等を行いました。

障害児施策の充実

■相談支援体制の充実 岩国市内3事業所に委託し、相談支援体制の強化を推進しています。

委託費：2,112,000円

■児童福祉年金の支給

対象者数	支給額
34人	2,304,166円

■難聴児補聴器等購入等の助成

対象者数	補助額
0人	0円

■岩国市障害児等総合療育相談訓練等事業負担金

岩国市が運営している療育センターの和木町分の負担金として1,190,000円を拠出しました。

基本目標3 こどもの成長を支える教育環境の整備

幼児教育の充実

■和木こども園保育教諭の教育研修

和木こども園保育教諭が延べ11回研修に参加、職員一人ひとりのスキルアップを図りました。

■配慮の必要な子ども達への支援

和木こども園において、7名の加配の職員を配置しました。

■和木こども園・小学校・中学校の連携について

令和3年度については、合同研修会及びICT研修会3回を共同で実施するとともに、和木町コミュニティスクール協議会を3回実施し、園・小・中代表者が参加し、連携を深めました。

就学児童の居場所づくり

■わきっこクラブ（放課後児童クラブ）を18時30分まで開設しています。

※18時以降は延長保育料がかかります。

■放課後こども教室実績値

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、登録者数、延べ参加人数ともに減少しました。

	令和2年度実績	令和3年度実績
わきあいキッズ	登録者数：65名（小中学生含む） 実施教室数：61教室 延べ参加者数：1,379名	登録者数：65名（小中学生含む） 実施教室数：26教室 延べ参加者数：629名

子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

■国際教育の推進

ALT 1 名、国際交流支援員 1 名により、学校及び和木こども園において英語教育活動を行いました。
また、こども園に配置されている国際交流支援員による英会話教室を開催しました。

青少年健全育成の推進

1 月 7 日、子ども環境クリーンアップ立入調査。7 月 5 日に同クリーンアップ活動を実施しました。
青少年問題協議会研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

基本目標 4 多様な働き方に対応した子育て支援の展開

■広域病児・病後児 利用者数：31 名（延べ人数）（大竹市 8 人・岩国市 23 人の施設利用分）

岩国市：シックキッズ・ぶちはぴ 大竹市：広島西医療センター

負担金拠出額：449,997 円

■父子手帳の交付件数 61 件

※妊娠届時に父子手帳を交付しています。

基本目標 5 子どもが安全・安心に過ごせる生活環境の整備

安全・安心な道路環境の整備

■和木町通学路安全推進会議

通学路における交通安全を確保することを目的として、7 月 28 日に通学路の安全対策会議を実施し危険箇所を現地調査し、その後の対策等について協議を行いました。

子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

■令和 3 年度家庭用防犯カメラの設置事業

防犯カメラ 10 台の設置に係る費用の一部 360,000 円を助成しました。

■わきスクールガード

令和 3 年度は、登録者 21 名がジャンパー、ベスト、腕章を身に着け、日々の児童生徒の登下校の見守りを実施しました。

基本目標6 相談体制の充実

■相談窓口のネットワーク化

保健相談センターに「子育て包括支援センター」を開設し、乳幼児期から出産期までにおける総合的な相談窓口を開設しています。また「和木町面接相談」を教育委員会、保健相談センター、こども園、小学校、中学校と連携し開催。山口県スクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー派遣事業を活用し、問題を抱える子どもや、その保護者に対して早期に対応できるようにネットワークの強化を図っています。

子育て包括支援センター 相談件数

	令和2年度	令和3年度
相談件数	74件	205件

■スマイルルームの設置

平成9年4月より専属の教育相談員2名を配置し、フリーダイヤルの開設、教育相談等を行っています。